

恵那市地域医療ビジョンのロードマップ（案）（令和6年2月15日策定）

		取り組むべき事項	優先	中長期
ミッションの柱	実施項目	実施内容		
①医療人材の人的ネットワーク構築	医療従事者の相互支援	医療従事者（看護師、技師等）の休暇取得時の診療所間での支援体制をつくる	○	
		各医療機関の規模や機能等を見直し、医療従事者の適正配置を行う	○	
		現在の1診療所に1人の医師の体制から、人的ネットワークによる複数の医師が複数の診療所で診察をする仕組みをつくる		○
	大学附属病院等の非常勤医師の検討	大学附属病院等の非常勤医師を複数の医療機関で診療する仕組みを検討する	○	
	新興感染症や大規模災害時における対応	新興感染症や大規模災害時における対応可能な体制づくりを検討する		○
	地域医療連携推進法人の検討	運営主体が異なる医療機関、福祉施設の法人化も一つの手法として視野に入れ、医療従事者の人事交流ができるか検討する		○
②医療情報の共有化	電子カルテシステムの導入	各公立医療機関に共通の電子カルテシステムを導入し、医療情報のネットワーク化を図る	○	
	公立医療機関での医療情報の共有化	医師や医療従事者がどの公立医療機関にいても、患者情報が確認できる仕組みをつくる		○
	オンライン診療の構築	地域の集会所等を活用し、公立医療機関からオンラインで診療できるシステムをつくる	○	
	移動診療車の検討	患者の通院負担を軽減するため、移動診療車（モバイルクリニックDtoPwithN）の導入を検討する		○
③公立医療施設の経営改善と医療資源の最適化	公立医療機関の規模・機能の検討	既存の公立医療機関を継続・維持する一方、規模や機能に合った診療日及び診療時間等の見直しを行う	○	
	国保上矢作病院の病床数の検討	地域医療構想等調整会議を踏まえた病床数の検討（ダウンサイジングを視野に）を行う	○	
	公立医療機関の医療機器等の検討	各公立医療機関の医療機器等を規模や機能に合わせた再配置を行う		○
	広域による医療提供体制検討	将来に向けた恵那市と隣接する中津川市と広域による医療提供体制を検討する		○
④地域包括ケアシステムの充実	医療・介護・福祉でのICT検討	医療・介護・福祉の連携のさらなる強化を図る ICTを活用した医療・介護・福祉の情報共有・管理について検討する		○
	訪問看護、訪問診療等の拡充	訪問看護、訪問診療の充実を図る 慢性期の医療を提供する介護施設等を検討する	○	
⑤施設・設備の整備	施設の建替え	国保上矢作病院及び国保岩村診療所の施設の建替え若しくは大規模改修工事に伴い、将来の医療ニーズ、患者数の動向、収支などの経営等を見据えた施設規模や機能を検討する 慢性期の医療を提供する介護施設等を検討する		○
	大規模改修工事			